

## 「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム ～スタートカリキュラム導入・実践の手引き～」について

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、主に小学校における教師を対象に、スタートカリキュラムの導入や実践に関する手引きを初めて作成しました。

今後、本手引きを全国の教育委員会等に配付し、スタートカリキュラムの更なる推進・充実を図ります。また、研究所ウェブサイトの中で広く一般にも公開する予定です。

### 1 作成の趣旨

小学校学習指導要領第 1 章総則「第 2 教育課程の編成」では、「4 学校段階等間の接続」が新設され、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすることが示されるなど、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の実現への期待が高まっている。しかしながら、遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の教育課程と、各教科等の学習内容を系統的に学ぶ児童期の教育課程は、内容や進め方が大きく異なり、その接続は決して容易ではない。この課題に応える具体的な手立てとして、平成 20 年の「小学校学習指導要領解説生活編」で示されたのが「スタートカリキュラム」である。

これまで本研究所では、スタートカリキュラムの意義や効果等の周知・啓発を目的として、パンフレット「スタートカリキュラムスタートブック」(平成 27 年)を作成し、各学校における取組を支援してきた。この度、スタートカリキュラムの取組を学校全体として一層充実させていくことを目的として、新たに手引きを作成した。本手引きには、各学校の様々な実態に対応できるよう、スタートカリキュラムを実際に編成・実施していくために必要な考え方や具体的な手順、事例等を盛り込んでいく。今後、手引きが多くの小学校等で活用されることにより、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教育活動が充実し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことを可能とする教育課程の実現が期待される。

### 2 本手引きの主な特徴（内容については別紙参照）

- スタートカリキュラムの基本的な考え方から、幼児期の教育を踏まえた各教科の実践事例まで詳しく解説
- スタートカリキュラムの質の向上に向けた取組を PDCA サイクルを基に解説

### 3 今後の予定

- 国立教育政策研究所のウェブサイト (<http://www.nier.go.jp>) に PDF ファイルを掲載
- 都道府県及び市区町村教育委員会等に冊子を送付

#### 〈本件担当〉

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発課長 高井 修 電話：03-6733-6832（直通）

研究開発課専門職 岩切 陽平 電話：03-6733-6824（直通）

# 発達や学びをつなぐスタートカリキュラム

## ～スタートカリキュラム導入・実践の手引き～

### 第1章 スタートカリキュラムの必要性

- 1 学習指導要領におけるスタートカリキュラムの位置付け
- 2 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえたスタートカリキュラム
- 3 合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定に配慮したスタートカリキュラム

### 第2章 スタートカリキュラムをデザインしよう

- 1 スタートカリキュラムをデザインする基本的な考え方
- 2 各学校で行うスタートカリキュラムのデザイン
  - (1) 幼児の発達や学びを理解する
  - (2) 期待する児童の姿を共有する
  - (3) 各学校のスタートカリキュラムをデザインする

### 第3章 スタートカリキュラムを実践しよう

- 1 生活科を中心とした学習活動の実践事例
- 2 教科の学習活動の実践事例
- 3 安心して学校生活を送るための活動の実践事例
- 4 児童が安心して学べる環境構成

### 第4章 スタートカリキュラムのマネジメント

- 1 【Plan】校内組織を立ち上げて準備しよう
  - (1) 意義, 考え方, ねらいなどを全教職員で共通理解し, 保護者へ説明する
  - (2) 園への訪問や教職員との意見交換, 指導要録等から児童の実態をつかみ, 指導に生かす
- 2 【Do】全校で協力体制を組み, スタートカリキュラムに取り組もう
  - (1) 全教職員で協力体制を組み, 見守り, 育てる
  - (2) 発達の特性を生かし, 具体的な活動や体験を取り入れた授業を工夫する
  - (3) 環境構成を工夫し, 安心感をもてるようにする
  - (4) 学級便り, 懇談会などで保護者に伝える
- 3 【Check】子供の姿・指導の在り方を語り合おう
  - (1) 取組がねらいに沿っているか, 児童の姿を通して日々評価する
  - (2) スタートカリキュラム作成委員会や職員会議等で, 実施状況を共有する
  - (3) 園の教職員や保護者に児童の様子を見てもらう
- 4 【Action】時期を捉えて, 反省・検証・改善しよう
  - (1) 改善点を次の指導に即座に生かす
  - (2) 週案等の資料をデータベース化し共有する
  - (3) 次年度に向けて, スタートカリキュラムの改善を図る

### 巻末資料